

JIS C 7709 シリーズ
“電球類の口金・受金及びそれらのゲージ並びに互換性・安全性”
〈追補〉の発行について

JIS C 7709 シリーズは、次の 4 規格が 1997 年に制定されて以来、次の表に示すように追補による改正が行われてきました。

規格番号／ 規格名称 制定、改正 年月日	JIS C 7709-0 第 0 部 電球類の口金・ 受金及びそれらの ゲージ類の総括的事項	JIS C 7709-1 第 1 部 口金	JIS C 7709-2 第 2 部 受金	JIS C 7709-3 第 3 部 ゲージ
1997 年 3 月 20 日	制定	制定	制定	制定
2004 年 11 月 20 日	追補 1	追補 1	追補 1	追補 1
2006 年 2 月 20 日	—	追補 2	—	—
2007 年 6 月 20 日	追補 2	—	追補 2	追補 2
2010 年 2 月 22 日	追補 3	追補 3	追補 3	追補 3
2010 年 11 月 22 日	—	追補 4	追補 4	追補 4
2012 年 1 月 20 日	追補 4	追補 5	追補 5	追補 5
2013 年 4 月 22 日	追補 5	追補 6	追補 6	追補 6
2013 年 11 月 20 日	—	追補 7	追補 7	追補 7
2014 年 11 月 20 日	—	追補 8	追補 8	追補 8
2015 年 7 月 21 日	—	追補 9	追補 9	追補 9
2016 年 12 月 20 日	—	追補 10	追補 10	追補 10
2017 年 9 月 20 日	—	追補 11	追補 11	追補 11

今回、2017 年 9 月 20 日付で JIS C 7709-1～-3 の 3 件の〈追補 11〉が発行されました。

これらの規格は、該当する IEC 規格の様式に基づき、追補による差替え方式を採用しておりますので、元の規格と併せて維持・管理に便利なファイル（例えば、JIS 用ファイル）に収納してください。

収納に当たっては、仮止めしてありますペーパーファスナから外して、現行の規格の該当部分に各シート番号ごとに差し替えてください。また、これらの規格は今後も追補による改正を行う場合がありますので、この追補及び元の規格も保存し活用してください。

〔参考〕

追補とは、規格の中の一部の規定要素を、追加、削除及び変更するために規格の全体を改正する場合と同じ手順を経て発行されるもので、改正内容だけを規定した規格票のことです。

例えば、追補 2 による改正が行われた場合、その規格は、元の規格、追補 1 及び追補 2 の三つを併せて一つの規格となります。